議事要旨(4) 金融商品専門委員会における検討状況(IASBヘッジ対応)について

冒頭、加藤副委員長(専門委員長)より、金融商品専門委員会におけるIASB公開草案「ヘッジ会計」に対するコメントの検討状況、及び本日がコメントについて議論する最後の委員会である旨説明がなされた。また、丸岡専門研究員より、審議事項(4)-1及び(4)-2に基づき、前回の委員会からの修正箇所を中心に説明がなされた。

説明の後、委員からの主な発言及び事務局からの説明は以下のようなものであった。

- ある委員から、質問 6 に関して、ヘッジ有効性判定における「予想される非有効性の 平均値を Zero にする」との事務局コメント案について、ブライト・ラインを廃止する 方向の中で、表現を「Zero」ではなく「最小化することを目標にする」等にすべきで はないかとの発言があった。これに対し事務局からは、英訳の段階で検討する旨の回 答がなされた。
- ある委員から、質問 1 に関して、他の質問に対する事務局コメント案と同様に「基本的に同意する」としているが、ヘッジ会計の対象を純損益に影響を与えるリスク・エクスポージャーに限定することに対しては同意しないという ASBJ のスタンスを踏まえれば、他の質問とは異なる慎重な言い回しにすべきではないかとの発言があった。これに対し事務局からは、企業のリスク管理を忠実に財務諸表に反映することには基本的に同意するという趣旨であり、純損益に限定することに対するコメントについては、FVOCI 指定の資本性商品との関係で別途触れているが、表現については検討する旨の回答がなされた。

最後に、加藤副委員長(専門委員長)より、本日の議論を踏まえ、表現の一部変更も検 討のうえ、IASBに対してコメントの提出を行う旨の発言がなされた。

以上